

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.218 2017.8.25

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」
8月20日(日曜日)放送分「各会派代表者に聞く1」

県議会広報テレビ「こんにちは県議会です」では、県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメルマガは、ご覧になれなかった方のために、20日に放送した「各会派代表者に聞く1」の内容をお伝えします。

埼玉県議会自由民主党議員団の小島信昭団長と民進党・無所属の会の浅野目義英代表に会派としての取り組みや今後の抱負などについて伺いました。

明後日27日(日)には「各会派代表者に聞く2」が放送されます。プレゼントコーナーもありますのでぜひご覧ください！

【放送時間】テレビ埼玉 日曜日 朝10時～

[☆詳しい放送スケジュールはこちら](#)



INDEX



県議会広報

こんにちは県議会です「各
会派代表者に聞く1」



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です】「各会派代表者に聞く1」

●埼玉県議会自由民主党議員団 小島信昭 団長

南第12区 さいたま市岩槻区 選出
平成12年 埼玉県議会議員に初当選(現在5期目)
平成24年 第114代埼玉県議会議長
平成29年3月 埼玉県議会自由民主党議員団団長に就任

— はじめに、番組をご覧の皆さんにごあいさつをお願いします。—

団長 こんにちは。埼玉県議会自由民主党議員団団長の小島信昭です。

県民の皆さまには、わが党に対して、日ごろから多大なご支援とご支持を賜り、厚く御礼申し上げます。私たち自由民主党議員団は、県民の方々のご要望を実現し、皆さまが安心して暮らせるより良い埼玉県となるよう、団員一丸となって頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。



《会派としての取り組み》

— 今年度、会派としてどのような点に重点をおいて取り組まれているのでしょうか。—

団長 一言で言いますと、県民の皆さんが夢と希望を持てる社会をつくることです。

今、日本には少子化や高齢化、それに伴う生産年齢人口の減少、地震やゲリラ豪雨といった自然災害などさまざまな課題が山積みで、未来に夢や希望が持ちづらくなってきていると思います。

こんな時だからこそ、未来に希望を持って、安心して暮らせる社会をつくっていかねばなりません。

《中小企業の支援》

— 夢と希望の持てる社会づくりですね。具体的にはどのようなことに取り組まれているのですか。—

団長 経済政策の強化には、引き続き力を入れていきます。特に「埼玉県の元気の源」ともいえる中小企業支援は重要です。厳しい経営環境にある中小企業のための資金繰り対策はもちろんですが、団塊の世代の方がスキルを活用できるような雇用のマッチングや、高付加価値を生む将来性のある中小企業の育成支援など、次の世代に繋がる経済政策を積極的に進めてまいります。



《農業政策について》

— 経済が元気になることは重要ですよね。—

団長 はい。加えて、農業も埼玉県の重要な産業です。農業政策の推進は、新鮮で安心・安全な農産物をお届けすることはもちろん、美しい農村景観の保全にもつながります。農業従事者の高齢化が進む中、次の世代の担い手を確保し、より一層の生産拡大と競争力の強化を図ります。

《医療や福祉の充実について》

— 他に力を入れて取り組んでいきたい分野はありますか。—

団長 全国一のスピードで高齢化が進む本県にとって、医療体制の整備は喫緊の課題です。平成30年3月に着工予定の順天堂大学医学部附属病院の誘致は、わが党の思いが形になったものですが、県内の均衡ある医療体制の充実を図ってまいります。

— 安心して生活していくためには医療や福祉は欠かせませんよね。—

団長 そうですね。子育て支援にも頑張っ取り組んでいきます。私にも子どもが3人おります。子どもはもちろんかわいいですが、親の負担も大きいです。

私たち自民党が推進している私立高校生についての父母負担軽減事業が今年度からさらに充実されます。夢を持って子育てをできるような環境が大切です。未来を担う若者にチャンスを与え、どの子も輝けるような社会をつくっていくのが、今を担うわれわれの責任だと思っています。

《東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて》

— 「未来に夢と希望を」、素敵ですね。—

団長 暗い話題が先行しがちですが、本県は、2019年のラグビーワールドカップの試合会場となります。また、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本県もサッカーやバスケットボールの競技会場となり、世界中の方が埼玉を訪れます。これを一過性のものとせず、未来への希望や埼玉の発展につながるレガシーを後世に残すためにも、県民の皆さまと一緒に盛り上げていきたいと思ひます。

《今後の抱負》

— それでは、最後に、団長としての抱負をお聞かせください。—

団長 私たち自由民主党議員団は、県議会最大会派として県の政策決定に大きな責任を担っています。皆さまのご意見やご要望をしっかりと受け止め、その実現に向け、団員一丸となって取り組んでまいります。

●民進党・無所属の会 浅野目義英 代表

南第9区 さいたま市浦和区 選出
平成19年 埼玉県議会議員に初当選(現在3期目)
平成28年4月 民進党・無所属の会代表に就任

— はじめに、番組をご覧の皆さんにごあいさつをお願いします。—

代表 県民の皆さま、こんにちは。民進党・無所属の会代表の浅野目義英です。私たち民進党・無所属の会は13名で構成されています。県議会では第2会派です。それぞれ、サラリーマン、国会議員秘書、教員など、実社会でのさまざまな経験を経て、県議会議員となり仕事をさせていただいています。



現場の声を知っていることは、議員にとってとても必要なことと思われま
す。また、13名中5名が女性です。仲間の中に、出産・育児・介護・みとりなど
を経験した者がいるというのは、とても大切なことであり、大きな特長な
のではないのでしょうか。

《会派としての考え》

— 今年度、重視している県政の分野について、会派のお考えをお聞かせく
ださい。—

代表 はい。何においても健康寿命の延伸、医療費の抑制は、私たちが考
える重要課題の一つです。埼玉県の65歳以上の人口は、2015年には179万
人でしたが、2020年には197万人に増加し、高齢化率は27.1%に、2045年
には234万人でピークを迎えて、高齢化率は36.2%にもなります。

このように超高齢社会になると、多くの方が長い人生を送ることになり、ラ
イフスタイルや社会の構造にも大きな変化が生じるものと考えます。

誰もが、健康で、医療費が少なく、生き生きと暮らすことができる「健康長
寿社会」の実現のための政策遂行が大切です。

ビッグデータ・AIなど技術革新を最大限活用した、新しい健康・医療・介護
システム、アプリの開発を確立させなければなりません。また、ウォーキング
や特定健診の受診などでポイントを貯めていく「埼玉県コバトン健康マイレ
ージ」の運用を、全県に発展させる必要を感じています。

《取り組むべき県政の重要課題》

— 会派として取り組むべき県政の重要課題についてはいかがでしょうか。

—

代表 高齢者を支える介護施設では、深刻な人手不足に悩まされています。保育人材の確保の取り組みも実を結んでいません。共働き世帯などの小学生を放課後に預かる学童保育は、指導員の確保も容易ではない状況です。何より処遇の改善なくしてこれら人材確保の対策は、いずれも進みません。先延ばしできない重要な課題であり、未来への投資という観点から見たとき、手をこまねてはいけない問題と考えています。

《時代の認識について》

— 代表からみた時代の認識をお聞かせください。—

代表 わが国の家計貯蓄率はほぼゼロに落ちていきます。夫婦2人で働くのが普通になってきたにもかかわらず、世帯の収入はここ20年間で2割近くも落ちこみました。国民の9割が老後に不安を感じています。

埼玉県の様子を見てみると、年収300万円以下の世帯が30%。この20年で12.7%増えました。生活保護を受ける世帯の中で高齢者世帯の数は、この25年で8倍になりました。この困難な現実の前に立ち、大変苦慮せざるをえません。

しかし、時代は立ち止まることを許してくれません。格差是正の力を地方で十分発揮できないのか。さらに工夫と挑戦をしていかなければなりません。



《再発防止を求める申し入れについて》

— 6月定例会では議会運営委員長に「申し入れ」を行ったそうですね。—

代表 6月定例会の一般質問中、差別的発言や憶測による発言がされたことに対し、再発防止を求めて、他の会派と共に「一般質問中の発言に関して不適切であり、再発防止を求める申し入れ」などを提出しました。心を痛める大変残念なことであり、議会での良識ある発言をこれからも求めていきたいと決意しています。

《政務活動費について》

— 埼玉県議会については、どのようにお考えですか。—

代表 7月12日、政務活動費の不正受給の問題で、自民党県議団を除名された議員が辞職しました。倫理観の欠如の事件と言えます。抑止力の気概が劣化してしまったのではないのでしょうか。

政務活動費の全面公開の実現は、私たちの強い要求で果たされています。私たちは、残ったお金を返還するなど政務活動費は大切な県税が原資であることを肝に銘じています。新たな公開方式の検討に入らなければなりません。

《今後の抱負》

— 最後に、今後の抱負をお聞かせください。—

代表「五か条の御誓文」には、「広く会議を興し、万機公論に決すべし」と筆頭に書かれています。明治新政府が筆を執り、その後、わが国の政治における基本指針を示すものとして、また立憲政治の実現を公約したものとして知られています。約150年も前に書かれたものです。

「人々の意見を広く集めて会議をする」という原点が、政治の基本であると思っています。

県民の利益になっているか否かを熟議し、自分たちの考えを意思表示する場が議会であると思っています。

私たち13人は、埼玉県議会へお送りいただいている使命を一時も忘れることなく、そのことを強く自覚しながら仕事をすることを誓いたいと思います。

[▲トップへ](#)



議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



展示期間：
7月31日
～8月4日
作者：
松月古流松宗
会
関根理華様
花材：南天、百
合、ヒペリカ
ム、りんどう、
流木



展示期間：
8月7日
～8月10日
作者：
松幸古流
山岸理瑠様
花材：
ガマの穂、カシ
ワバアジサイ、
百日草

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇

【Part1】



〈松月古流松宗会 関根理華様〉

Q: 南天が大きく広がっていますね。

A: わが家の庭の南天です。南天を支えている小さな花器は石に見えますが、実はプラスチック製でとても軽いんです。先端に重心がある長い枝ですので、そのままでは安定しませんが、形状のあった流木を合わせてうまく支えることで、軽い花器でもしっかり安定しています。

Q: 百合の花をあえて摘まれたのですね。

A: つぼみだけにしたのは、暑い夏の一週間、美しい状態を保つためでもあります。九州での豪雨災害など大変な地域もありますので頑張っていたきたいという思いを百合のつぼみとそっと添えたりんどうに込めています。つぼみにはこれから花開く大きな力があります。生命が持つ力を感じていただけたらと願いを込めました。

【Part2】



〈松幸古流 山岸理瑠様〉

Q: 使用した花材について教えてください。

A: 今が旬であるガマの穂の緑色とのコントラストを意識して、同じく今が旬の百日草は華やかな赤色と黄色のものを使いました。カシワバアジサイは梅雨時が見ごろですが、紅葉が始まる前の今の時期には黄緑になるので、濃い緑と合わせたときに映えると思い使いました。

Q: 作品全体が背が高くて印象的です。

A: 作品が目に入りやすいようにしました。花器も、背の高い作品に合わせて底が深い焼き物を使いました。花器用に自分で焼き物を作ることもあります。また、四方のどの角度から見ても華やかに映るように背面などにも花を生け込みました。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。≫

[▲トップへ](#)

【お問い合わせ】

●「[メールマガジン埼玉県議会](#)」の登録・解除は[こちらから](#)≫

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

Copyright 2008. Saitama Prefectural Assembly 無断転載を禁じます。

